

ドイツ文學研究

報告第17號

1969

京都大學教養部ドイツ語研究室

目 次

ジャン・パウルの現実否定と小説形式……………池 田 浩 士 (1)

『カッツェンベルガー博士の温泉旅行』——覚え書

『言葉の格子』と詩の可能性……………本 郷 義 武 (26)

—— パウル・ツェラーン覚え書 ——

ゲオルク・トラークル……………平 井 俊 夫 (68)

—— 《Gottes Schweigen》 について

技術の進歩と像の消滅……………佐 野 利 勝 (90)

—— マクス・ピカートの観相学に拠る断章 ——

DREI LIEBESGEDICHTE VON GÜNTER GRASS

(“Liebe” — “Kirschen” — “Blutkörperchen”)

…………… Siegwart Berthold (1)

ドイツ文学研究

編集兼発行者 京都大学教養部ドイツ語研究室

報告第17号 (非売品)

代表者 田川基三

1969年3月25日 印刷

印刷所 明文舎印刷株式会社

1969年3月31日 発行

京都市南区吉祥院池ノ内町10